

# 特集

# 町の少子化の現実と対応策は？

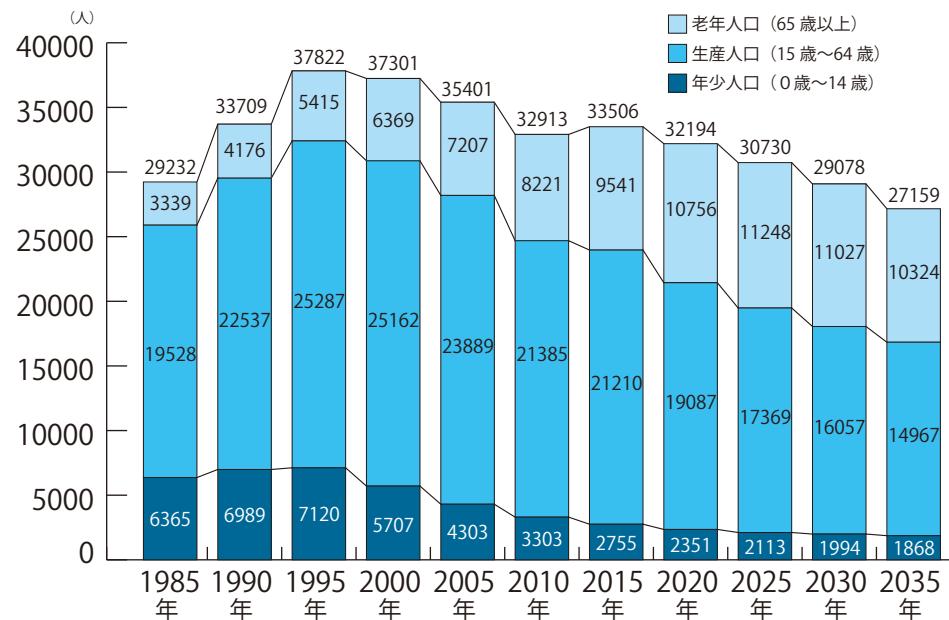
「子どもが少なくなった」こんなやりとりが当たり前になってしまいました。議会におが、少しずつ施策として実現されています。町も「平成25年度予算の3つの重点項目」もっと正面から課題に取り組むべきです。今回の特集を通じて、住民の皆さんとともに、

いても「少子化」のテーマのもとに、さまざまな議論が交わされ、十分とは言えませんの1つに「子育て支援と健やかな長寿の実現」を掲げています。財政的に厳しい中ですが、少子化の実態を共有し、今後について考えていく材料になればと思います。

## 町の年齢階層別人口

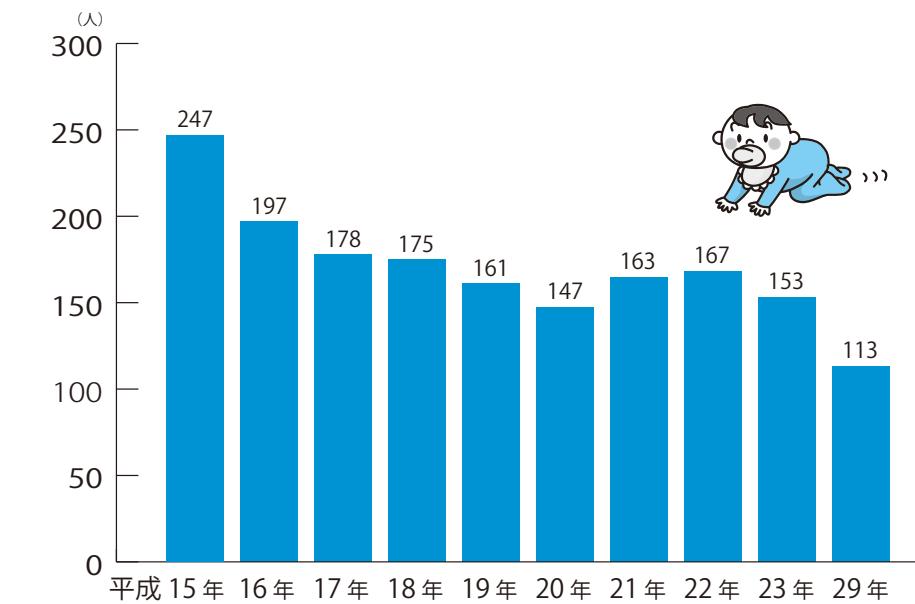
小川町次世代育成支援行動計画  
後期行動計画(平成22年3月発行)より

2015年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の封鎖人口による推計  
(封鎖人口とは、出生と死亡のみを考慮して推計した人口)



## 町の出生数の推移

平成15年から平成23年は埼玉県人口動態 (埼玉県保健医療部保健医療政策課)  
平成29年は推計値 (各年年度末人口)



少子化対策は、雇用・住宅・保育など、さまざまな角度からの政策が必要になります

### 議会での意見・提案(一部)

- ◎行政による婚活
- ◎企業誘致による雇用拡大
- ◎お母さんの働きやすい環境づくり（保育の充実など）
- ◎新規就農者への土地・住宅の仲介
- ◎2世帯住宅などへのリフォーム補助

議員の皆さん  
これからも  
がんばって  
ください

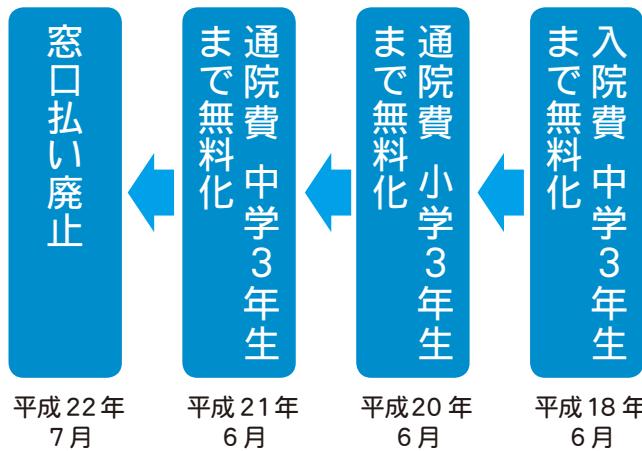


### こども医療費以外 では…

- ◎子ども手当の支給
- ◎出産育児一時金の拡充
- ◎各種予防接種の充実
- ◎全小学校区に学童保育室の設置
- ◎ゼロ歳児保育・一時保育・病後保育の実施
- ◎子育て支援センター・児童館の設置



### こども医療費は中学生まで拡充！



一般質問  
こども医療費を無料に！  
窓口払いを廃止に！ほか  
議員が住民の皆さんとの声・要望を質問する  
議会で決まっていくのですね



保険医療制度は「就学前まで2割負担、就学後3割負担」となっていますが、埼玉県では乳幼児医療費支給事業で「就学前まで無料」となっています。

当町ではさらに上乗せ分として独自の予算を用意して、中学生まで医療費の無料と入院時の食事代も負担しています。